



前期人権同和教育旬間 5月7日～5月28日

5/7 校長講話より

学習のスタートにあたって、私から大きく2つの話をします。
 少しの時間、聞いてください。

一つ目は「五中人権宣言」についてです。

皆さんの手元に、五中人権宣言が配られていると思います。

五中には、いじめ・差別撲滅のために、皆さんの先輩が作った
 「五中人権宣言」というすばらしい宣言があります。今から25
 年前、一人の生徒がいじめに遭い、けがをするという大変な事件
 が起きました。その事件をきっかけに、当時の生徒会役員が立ち
 上がり、「五中生一人一人の安心と幸せを求め、誰もが仲間である
 学校を」という願いのもと、この「五中人権宣言」が制定されま
 した。

前文に、「私たちは、生徒全員が安心して生活できる五中をつく
 りあげていくことをめざし」とあるように、人権が守られると
 は、「一人一人が安心して生活できる」ということが大切です。

以下七箇条にわたり、安心して生活できる五中をつくる、具
 体的な行動について書かれています。

私たちはいつもこの五中人権宣言を見つめ直し、いじめや差別
 がないよう、日々の自分たちを見つめ返さなければいけません。

今から7つの質問をします。心の中でいいので「はい」か「い
 いえ」で答えてください。

- 1 困っている友達に、なかなか声をかけてあげられない
- 2 仲間外しをしてしまうことがある
- 3 人の悪口を陰で言ったり、まわりに言いふらしたりしてしまうことがある
- 4 相手の弱点を、ちくちく言葉で言って、言葉で相手を傷つけてしまう
- 5 友達などの噂話を、おもしろがったり、SNSで広めてしまったりしてしまう
- 6 周りの大人や友達が言っているからと、偏見をもって友達に接する
- 7 友達をからかったり、相手の気持ちを考えずにいじったりしてしまう

1 五中人権宣言

2 心のバリアフリー

1 五中人権宣言

いじめ事件をきっかけに生徒会役員が行動

**五中生一人一人の安心と幸せを
求め、誰もが仲間である学校を**

1 五中人権宣言

前文

「私たちは、**生徒全員が安心して
生活できる五中をつくりあげていく
ことをめざし、...**」

1 五中人権宣言

心の中で「はい」「いいえ」

- 1 困っている友達に、なかなか声をかけてあげられない
- 2 仲間外しをしてしまうことがある
- 3 人の悪口を陰で言ったり、まわりに言いふらしたりしてしまうことがある

1 五中人権宣言

心の中で「はい」「いいえ」

- 4 相手の弱点を、ちくちく言葉で言って、言葉で相手を傷つけてしまう
- 5 友達などの噂話を、おもしろがったり、SNSで広めてしまったりしてしまう

1 五中人権宣言

心の中で「はい」「いいえ」

- 1 困っている友達に、なかなか声をかけてあげられない
- 2 仲間外しをしてしまうことがある
- 3 人の悪口を陰で言ったり、まわりに言いふらしたりしてしまうことがある
- 4 相手の弱点を、ちくちく言葉で言って、言葉で相手を傷つけてしまう
- 5 友達などの噂話を、おもしろがったり、SNSで広めてしまったりしてしまう
- 6 周りの大人や友達が言っているからと、偏見をもって友達に接する
- 7 友達をからかったり、相手の気持ちを考えずにいじったりしてしまう

「はい」の数はいくつでしたか。これらはすべて「いじめ・差別」にあたるものです。

私たちが生きている現代社会、そして身近なところにもさまざまな差別が目に見える形で存在します。そして、目には見えないけれど、私たちの心の中にある差別、もちろん、校長の私にも、無意識のうちに差別をしてしまう弱い心があります。

これからの学習を通して、人権の大切さや差別の解消について正しく理解すると共に、日頃の自分を振り返りながら、一人の人間として、心の中にある差別と向き合い、それに負けない自分をつくってほしいと思います。

もう一つのお話は「心のバリアフリー」についてです。

「心のバリアフリー」とは、様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、お互いの理解を深めるためにコミュニケーションをとり、支え合うことです。

もう1学期が始まって1カ月過ぎていきますので、わかっていると思いますが、1年生に、歩くことが困難な友達がいます。Rさんです。Rさんは生まれた時に歩くための力に傷がついてしまい、歩行の際に補助する道具を使っています。でも、ほかの1年生の皆さんと同じく、中学校での新しい生活に慣れようと、日々頑張っています。同じクラスの皆さんは、座席の位置を移動がしやすい場所にしたり、係や当番の活動を工夫したり、できることで支えています。そんな仲間が五中にいる、ということを理解して皆さんもこれからの生活をしてください。

互いの存在を理解することで言えば、Rさんに限りません。私たち一人一人は、好きなものやことが違えば、得意なことや苦手なことも違います。みんなと一緒に始めても人より少し時間がかかってしまう人もいます。友達と大声でワイワイやるのが好きな人もいれば、静かな場所や時間が好きな人もいます。人前で話すことが得意な人がいれば、たくさんの人の前だと緊張してなかなか言葉が出てこない人もいます。顔が一人一人違うのと同じだけ、性格や特徴も違います。ですから、自分とは違うことを理由に差別したり、自分の中の当たり前だけで判断してはいけません。

全校生徒、先生方を合わせると500人以上がこの五中で共に生活をしています。五中人権宣言にもあるように「一人一人が安心して生活できる」学校にするには、コミュニケーションをとり、お互いを理解して、支え合うこと、「心のバリアフリー」を進めることが大切です。

これからの皆さんの取り組みに大いに期待をして私の話を終わります。ありがとうございました。

五中人権宣言

見える差別
見えない差別

無意識の差別
私たちの中にある差別する弱い心

五中人権宣言

無意識の差別
私たちの中にある差別する弱い心

人権の大切さ、差別解消への正しい理解

差別する弱い心に負けない自分

心のバリアフリー

互いの理解

イラスト
ホームページ掲載のため編集しています。

心のバリアフリー

互いの理解

イラスト
ホームページ掲載のため編集しています。



人権同和教育の取り組みについて

本校の人権同和教育の目標は、「一人ひとりが人間として尊重され、差別のない明るい集団を志向する生徒を育てるための人権教育」です。学校が人権教育で大切にしていることは、子どもたちの人権感覚（人権が守られていることを感知し、それを望ましいと感じ、反対に人権が侵害されている状態を感知し、これを許せないとする感覚）を磨き、人権意識（人権が大事にされていることを肯定し、逆に侵害されていることの問題性を認識して、人権侵害を解決せずにはいられないとする意識）を高めることにあります。

学校の人権教育の取り組みは、全教育活動を通じて実施しています。人権同和教育推進の重点は以下の通りです。

- 生徒一人ひとりの居場所があり、互いに認め合える、開かれた学級づくりをしていく。
- 様々な差別や人権侵害を「他人ごと」ではなく、「自分だったらどう感じるのか」「自分にできることややるべきことはないか」等、「自分ごと」として考える場面や機会を設ける。
- 教師自身の人権感覚を磨き、全教育活動を通して、人としての温かさ、大らかさ、謙虚さを自らの姿勢で生徒に示していく。
- 「いじめられている人の立場になり、その人の気持ちをいじめている人が気づくこと。そこからどうやったら誰もが安心して生活できる学校にしていくかを考えよう(1999年)」という気持ちから「五中人権宣言」が作られたことを忘れずに、一人ひとりの人権意識を育成し、差別を解消していくための力をつけるとともに、自主・自立の精神を養い、差別を克服し、たくましく生きる力をつけるための指導を心がける。

「五中人権宣言」

この五中人権宣言ができたのは 1999 年です。当時、校内でからかいなどがありました。ある日、とうとうもみ合いのけんかとなり、一人の生徒は転んで骨折をするという大けがをしました。

このことがあり、当時の生徒会が立ち上がり、全校にアンケートをとった結果、五中にはいじめがあると答えた生徒が 21%、いじめられた経験があると答えた生徒が 15% いるにもかかわらず、いじめがあるかどうか分からないと答えた生徒が 43% もいました。当時の生徒会は悲しい思いをしている人がいるのに、意識していない生徒が多いことが問題であると考えました。そして、生徒会長が「いじめられている人の立場になり、その人の気持ちを、いじめている人が気づくこと。そこからどうやったら誰もが安心して生活できる学校にしていくかを考えよう」と全校集会で訴え、この五中人権宣言が出来上がりました。

五中人権宣言

私たちは、生徒全員が安心して生活できる五中をつくりあげていくことをめざし、次のことについて確認し、行動するよう呼びかける。

- 1 私たちは、どのようなときもお互いに平等であり、楽しく、安心して学校生活を送っていく権利がある。
- 2 安心して生活できる学校とは、全体が団結していて、友達を信頼でき、行きたいと思える学校である。
- 3 私たちは、個人の性格、人柄、考え方、身体的な特徴、能力、性別などといった個性の違いを理由とした、あらゆる差別や、冷やかしの、いじめなどの行為をしてはならないし、こういった行為を許してはならない。
- 4 私たちは、学校生活において、自分の意見を表現する自由がある。
- 5 私たちは、差別されたり、いじめられたりしたとき、生徒会やクラス、そして、親や先生、友達に助けを求めることができる。
- 6 差別されたり、いじめられたりしている人を助けるため、仲間が立ち上がる義務がある。
- 7 私たちは、五中からいじめをなくしていくために、お互いの個性を尊重し、相手の気持ちを考え、思いやりを持って行動することができるよう努力する。

以上のことを実現するために、生徒会やクラスにおいて、時々話し合いを行い、私たちの自覚がうすれたり、この宣言の真の目的について忘れられることのないようにする努力がはからなければならない。

1999年10月30日 上田市立第五中学校生徒会

ご家庭でも人権についてお子さんと一緒に考えてみてください。

いじめ防止に向けた取り組み

いじめは、生徒の心身の健全な成長に重大な影響を及ぼす、人としてけっして許されないものです。学校では、「いじめ防止基本方針」を策定し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応を進めています。集団で生活をするなかで、人間関係による様々な問題が発生することがあります。また、最近ではSNSでのトラブルが発生しています。それを、いじめの問題とならないようにするため、お互いを認め合い、学び合いができる、あたたかい人間関係を築けるよう「あたたかい五中」をめざし取り組んでいます。

五中の「いじめ防止基本方針」は学校ホームページからご覧いただけます。

<http://www.school.umic.jp/ueda5/ijimebousi/20250418-174414.php>

学校では、未然防止からはじまり早期発見、早期対応をするため、組織的対応に心がけています。学校全体として、毎月「いじめアンケート」を実施するとともに、相談期間を設け、生徒の気持ちを受け止めるようにしています。ご家庭でもお気づきのことがありましたら、学校にお知らせください。

最近の学校の様子は、tetoruで配信した「学年だより」や学校ホームページをご覧ください。

- 校舎改築関係
- オンライン接続方法

- 制服検討委員会
- 学校評価
- いじめ防止
- 虐待対応
- 非遵行為防止
- 安全マップ
- トップ写真
- 認証ページ
- 給食の献立
- PC・スマホ用QR



2025年5月2日(金) [月暦] 5月暦
令和7年度 5月暦です。下記をクリックしてDLしてください。 令和7年度 ...

2025年4月25日(金) [学校評価] 2025年4月25日(金) 令和7年度 学校自己評価
第五中学校の令和7年度の学校自己評価計画、学校自己評価シートです。下記をクリック...

2025年4月21日(月) [全校の行事] 避難訓練
4月21日(月)には今年度初めての避難訓練がありました。新校舎になって初めての避...

2025年4月14日(月) [学校だより] 令和7年度 学校だよりNo.1
令和7年度 学校だよりNo1をアップしました。下記をクリックして、ご覧ください...

2025年4月14日(月) [グラウンドデザイン] 令和7年度 グラウンドデザイン
令和7年度 グラウンドデザインです。下記をクリックしてご覧ください。 令和7...

2025年4月12日(土) [学年の行事] 修学旅行に行ってきました！ 案協学礼！(3年生)
4月10日(木)～12日(土)の3日間、奈良と京都へ修学旅行に行ってきました。 ...

2025年4月11日(金) [月暦] 4月暦
令和7年度 4月暦です。下記をクリックしてDLしてください。 令和7年度 4月...

2025年4月11日(金) [年間予定] 令和7年度年間行事予定
令和7年度年間行事予定です。下記をクリックしてDLしてください。 R7年間行事...

2025年4月7日(月) [生徒会] 生徒会対面式・生活ガイダンスを行いました
生徒会対面式及び生活ガイダンスを行いました。2、3年生の拍手と生徒会役員による...

2025年4月4日(金) [トップ写真] 新校舎最初の入学式が行われました。
4月4日(金) 令和7年度 第45回入学式が、上野が丘社会体育館で行われました。 ...



4/21 避難訓練



5/8 生徒総会



5/14 移動鑑賞音楽会（神科小にて）